

専門学校の教員養成における 協調自律学習の事例的検討

明治東洋医学院専門学校

河井正隆

kawai@meiji-s.ac.jp

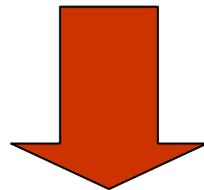
協調自律学習との出会い

- 昨年の夏(2006.8), 本研究所主催の「協調自律学習のカスタマイジング」に参加.
- その時は, よくわからなかった.

- その後, 西之園先生の授業を2回参観させていただく. 論文も拝読.

Why? 自律協調学習なのか!?

- “知識創造”というキーワードに惹かれて.
- 学生の可能性を最大限に引き出せるかも.



自分の授業をブラッシュアップさせたい!!

はじめに

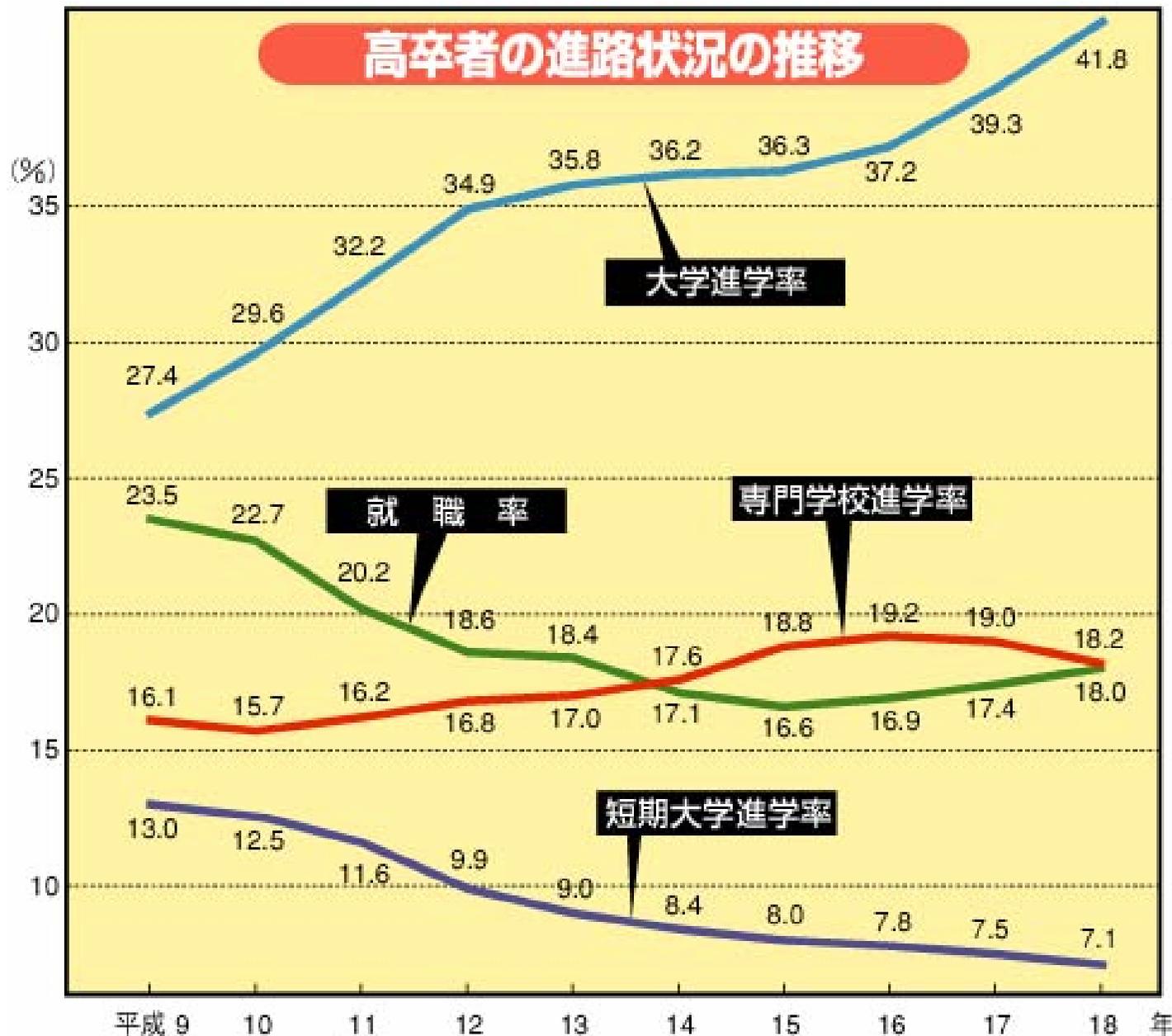
- 学生の最高の教育環境は、教員自身。
- 今、教員養成系大学・学部などでは、複雑で多様な教育問題を「主体的に知識を創造しながら問題解決に取り組むことができる」(西之園 2003)人材の養成が求められている。



- これは、初等中等教育の教員養成に関する論議。
- しかし、専門学校教員の養成も同様では。

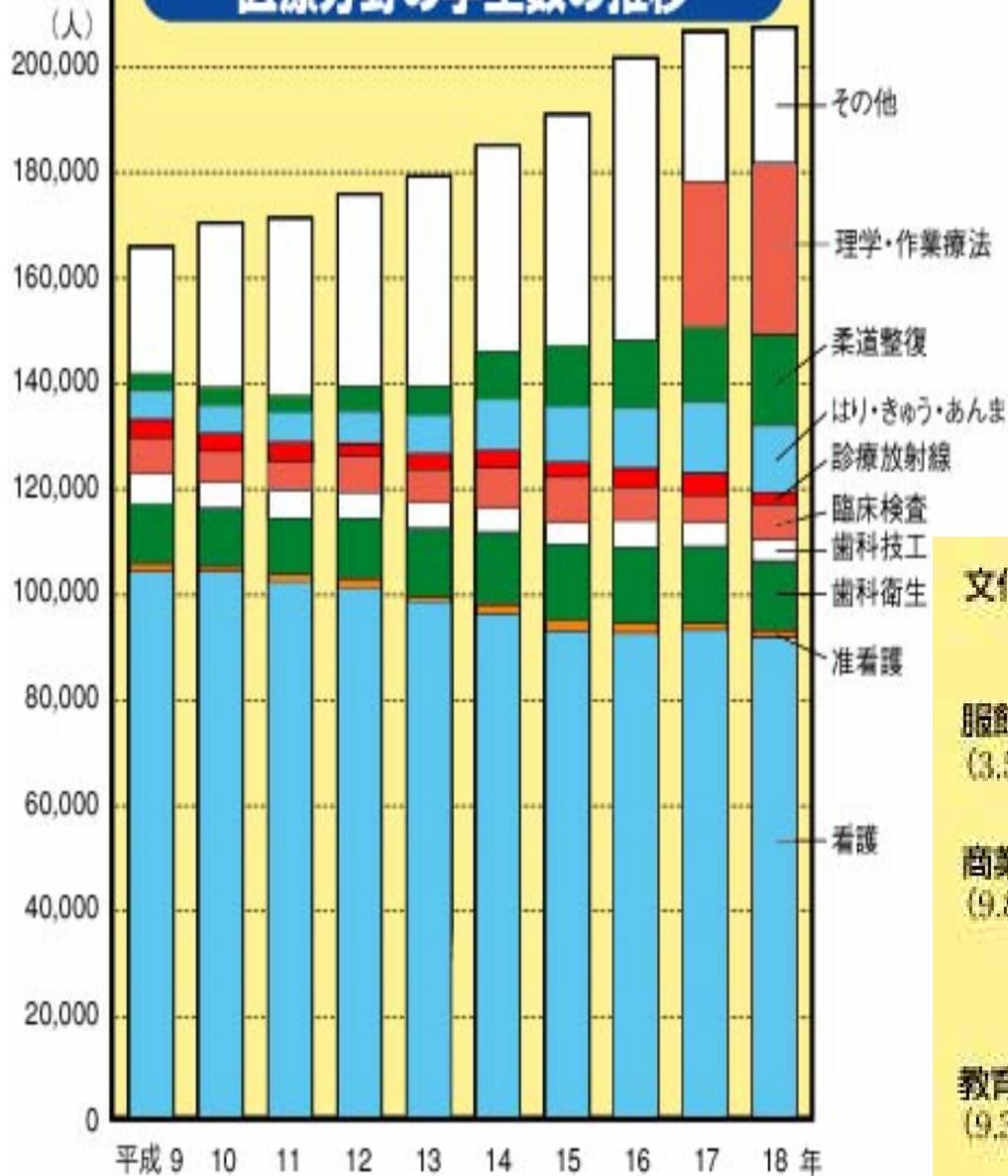
- **初等中等教育での教員養成における研究は膨大な蓄積が.**
- **専門学校教員の養成に関する検討は？**
- **今後, 専門学校教育を充実・発展させゆくためにも, 専門学校教員の養成に特化した実践的研究が急務.**

専門学校の今

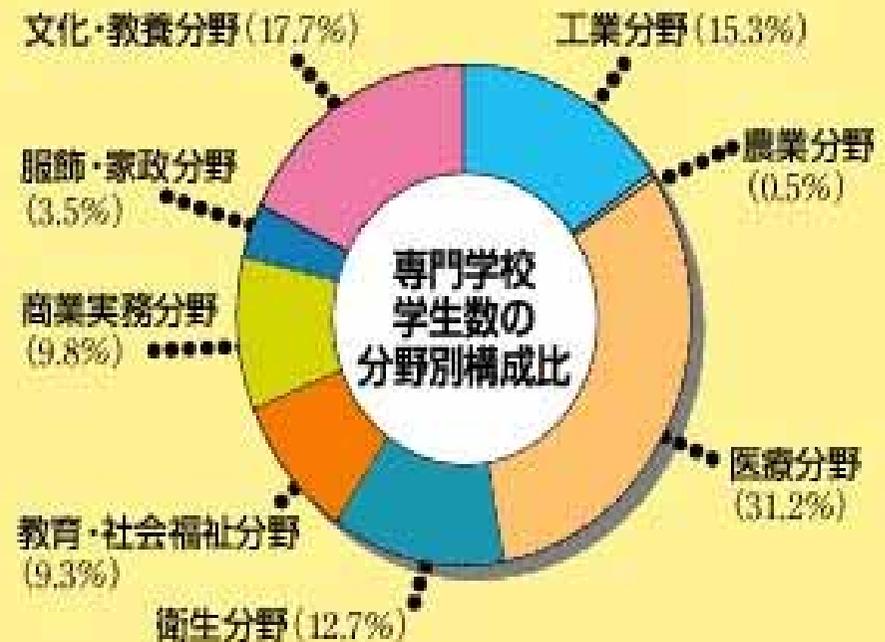


<http://www.senmon.co.jp/index.html>から抜粋(資料:平成18年度,学校基本調査,文科省)

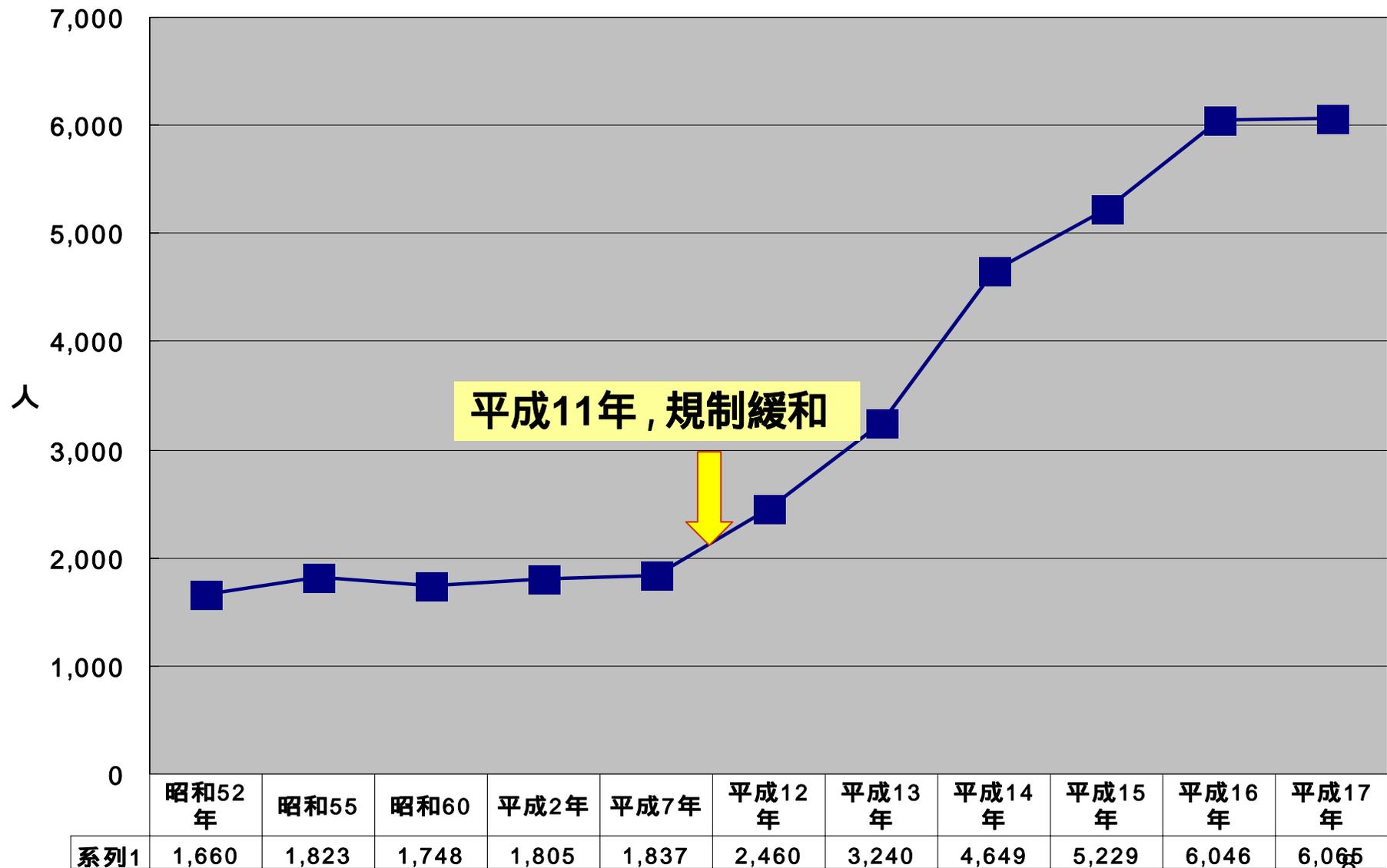
医療分野の学生数の推移



医療分野は、専修学校制度創設以来一貫し学生数を増やし、平成8年度の16万6000人に比べ**25.6%**も増加。前年に比べH18年度も0.3%の伸びを示し、**堅実な発展ぶり**を見せる。



はり・きゅう師入学定員数の年次推移



本校の紹介

所在地:大阪府吹田市
鍼灸学科, 柔整学科, 教員養成学科の3学科(定員総数, 950名)



本校は, 学校法人明治東洋医学院のネットワークの中で, 21世紀の社会と医療の変化を的確にとらえ, 患者様のニーズに柔軟に対応できる能力をもつ鍼灸師・柔道整復師を養成.

今回の授業実践の目的

- 本校教員養成学科「教育学概論」を題材。
- 協調自律学習の有用性を検討。
『学生授業評価』から

今回の授業の概要

- 今回対象とした授業：本校教員養成学科に開設する必修科目「教育学概論」（2007年度前期）．受講生，12名（男性7名，女性5名），平均年齢， 30.9 ± 6.5 歳．
- 授業のねらい：協調自律学習を通し，自らが主体的に知識を創造し問題解決に取り組む技術，態度を養う．
- 最終の課題：「私が構想する未来の専門学校」（レポート3～10枚，3,600字～12,000字）．

今回の授業の概要

- 授業回数: **前期12回** (平成19年4月~7月), 1コマ90分.
- 授業形態: 50分程度の**ショートレクチャー**と, 1チーム学生4名(合計3チーム)の**協調学習**と, 個人ベースで行う**自律学習**.
C-Learningの活用.
- テキスト: 学習開発研究所発行『**教育の技術と方法 - チームによる問題解決のための学習テキスト -**』(2006, 初版)を改変し使用.

「C-Learning」について

(株式会社ネットマン)

PCまたは携帯電話の活用.

- 授業に関する**情報の発信**: 教員から必要な情報を学生に配信.
- 授業に関する**情報の交換**: 専用サイト掲示板で学生同士の情報交換.
- 授業に対する**意見・質問**: 専用サイト掲示板で授業への意見・質問の書き込みを可能に.
- **レポート・課題の提出**: Web上からレポート・課題の提出を可能に.
- 学生が作成した**資料の共有化**: 専用サイトにアップロードやダウンロードを行わせ、資料の共有化を実現.

メニュー画面

PC CAMPUS
C-Learning

他の講義へ 個人情報変更 ログアウト ヘルプ

Toppage 講義掲示板1 創庫de協働 教材創庫 メールde相談室 レポート アンケート

講義名：教育方法学Ha-2006

▼ニュース▼
最終レポートの受付を締め切りました。未提出の方で、締切時間前後にご連絡の無かった方、速く提出をお願いします。

▼メニュー▼

 講義掲示板1 この講義に関する掲示板です。	 教材創庫 この講義の電子教材を閲覧することができます。
 創庫de協働 この講義に関する協働板です。	 メールde相談室 先生へのメール相談フォームです。
	 レポート 提出可能0件 成績公開0件 レポートの提出と履歴を見ることができます。
	 アンケート 未回答0件 アンケートの回答はこちらから。

各チーム専用共有スペース(自分のチームのみ)

このサイトCAMPUS
C-Learning
教育方法学KaAa-2006

▼ニュース▼
C-Learningでうまく提出できず、提出期限を過ぎた方、速く提出をお願いします。

■メニュー■
[演習教室](#)
[小テスト](#)
[講義掲示板](#)
[教材創庫](#)
[メールDe相談室](#)
[個人情報変更](#)

[【他の講義へ】](#)
[【ログイン画面】](#)

教員側のコントロール画面

The screenshot shows a Windows Internet Explorer browser window displaying the 'C-Learning' website. The address bar shows the URL <https://asp.c-learning.jp/ild-kojin/t/top.asp>. The browser's toolbar includes search engines like Google and Yahoo!, and various utility buttons. The website's header features the 'C-Learning' logo and navigation links for address change, password change, logout, and help. A secondary navigation bar contains icons for '演習問題' (Practice Questions), '小テスト' (Small Tests), '成績表' (Grade Sheet), '掲示板1' (Bulletin Board 1), '創庫de協働' (Collaborative Creation), '教材創庫' (Material Creation), '相談室' (Consultation Room), 'ニュース' (News), 'レポート' (Reports), 'アンケート' (Surveys), '学生管理' (Student Management), and '掲示板1管理' (Bulletin Board 1 Management).

The main content area is titled '河井 正隆先生【前回ログイン:2007/08/19 17:19:59】' (Mr. Kawai Masataka [Last Login: 2007/08/19 17:19:59]). It is divided into two main sections:

- 1 講義を選択** (1. Select Lecture): This section includes a dropdown menu for '選択講義名' (Selected Lecture Name) set to '教育学概論' (Introduction to Education), and a text box for '受講学生数' (Number of Students) showing '13人'. Below this is a yellow button labeled '→ 講義を切替' (Switch Lecture) and a dropdown menu currently set to '教育学概論' with a '講義変更' (Change Lecture) button next to it. At the bottom of this section is a link for '教育学概論'.
- menu**: A yellow sidebar menu with icons and text for various functions:
 - 演習問題**: 問題の新規投入/修正・削除 (New problem input/edit/delete)
 - 小テスト**: 問題の新規投入/修正・削除 (New problem input/edit/delete)
 - 成績表**: 演習問題・小テストの全体/個人の成績を表示します。 (Display overall/individual scores for practice questions and small tests)
 - 掲示板1**: 講義ごとの掲示板1の内容閲覧・書き込み削除 (View/delete posts for each lecture)
 - 創庫de協働**: 講義ごとの協働板の内容閲覧・書き込み削除 (View/delete posts for collaborative boards for each lecture)
 - 教材創庫**: 教材の修正・投入・削除 (Edit/input/delete materials)

The browser's status bar at the bottom shows 'インターネット' (Internet), 'ATOK 2006', and '100%' zoom level.

掲示板の画面

C-Learning - Windows Internet Explorer

https://asp.c-learning.jp/ild-kojin/t/bbs/top.asp?pm_siteid=STE000000002&bbsflg=0

検索 W ブックマーク ブロック数: 1 チェック 翻訳 次へ送信 設定

Y! Adobe 検索 My Yahoo! Yahoo! JAPAN ファイナンス

C-Learning

アドレス変更 パスワード変更 ログアウト ヘルプ

演習問題 小テスト 成績表 掲示板1 創庫de協働 教材創庫 相談室 ニュース レポート アンケート 学生管理 掲示板1管理

講義名: 教育学概論

掲示板1 一覧 学生側のメール送信あり 受講生全員にメール送信

掲示板1名	最新投稿日	発言数	学生数	文字数	掲示板1公開状況	個別状況確認
全体掲示板	2007/07/06 14:15:25	8	13	2465	書き込み可で学生に公開	使用しない
チーム1	2007/06/17 22:48:58	12	13	2391	書き込み可で学生に公開	使用しない
チーム2	2007/06/17 22:48:58	12	13	2391	書き込み可で学生に公開	使用しない
チーム3	2007/06/17 22:48:58	12	13	2391	書き込み可で学生に公開	使用しない

C-Learning - Windows Internet Explorer

https://asp.c-learning.jp/ild-kojin/t/bbs/1_1_2.asp?pm_siteid=STE000000002&forumid=FRM000000076&bbsflg=

検索 W ブックマーク ブロック数: 1 チェック 翻訳 次へ送信 設定

Y! Adobe 検索 My Yahoo! Yahoo! JAPAN ファイナンス

C-Learning

検索条件入力 本文 検索 詳細検索 一括ダウンロード

操作	未読	記事ID	発言者	投稿日	既読学生数	削除	ツリー	タイトル
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000001739		2007/06/17 22:48:58	6人		▼(0)	[0012]詳しくはありませんが…
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000001722		2007/06/15 18:40:54	8人		▼(0)	[0011]疲れました
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000001650		2007/06/03 23:16:16	7人		▼(0)	[0010]お疲れ様です
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000001642		2007/06/02 01:22:23	6人		▼(0)	[0009]お疲れ・
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000001535		2007/05/25 01:38:53	7人		▼(0)	[0008]いひなあ・
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000001527		2007/05/24 00:33:13	6人		▼(0)	[0007]こんばんは・
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000001492		2007/05/21 23:05:26	6人		▼(0)	[0006]阪神タイガース: 2020年の予測
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000001303		2007/05/11 21:44:48	6人		▼(0)	[0005]西野>今日の授業について
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000001301		2007/05/11 20:01:20	6人		▼(0)	[0004]こんばんは森
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000001167		2007/05/06 03:22:16	6人		▽	[0003]GW
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000001138		2007/05/02 11:36:41	7人		▽	[0002]Re: チーム1
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	000001085		2007/04/27 13:22:08	6人		▼(2)	[0001]チーム1

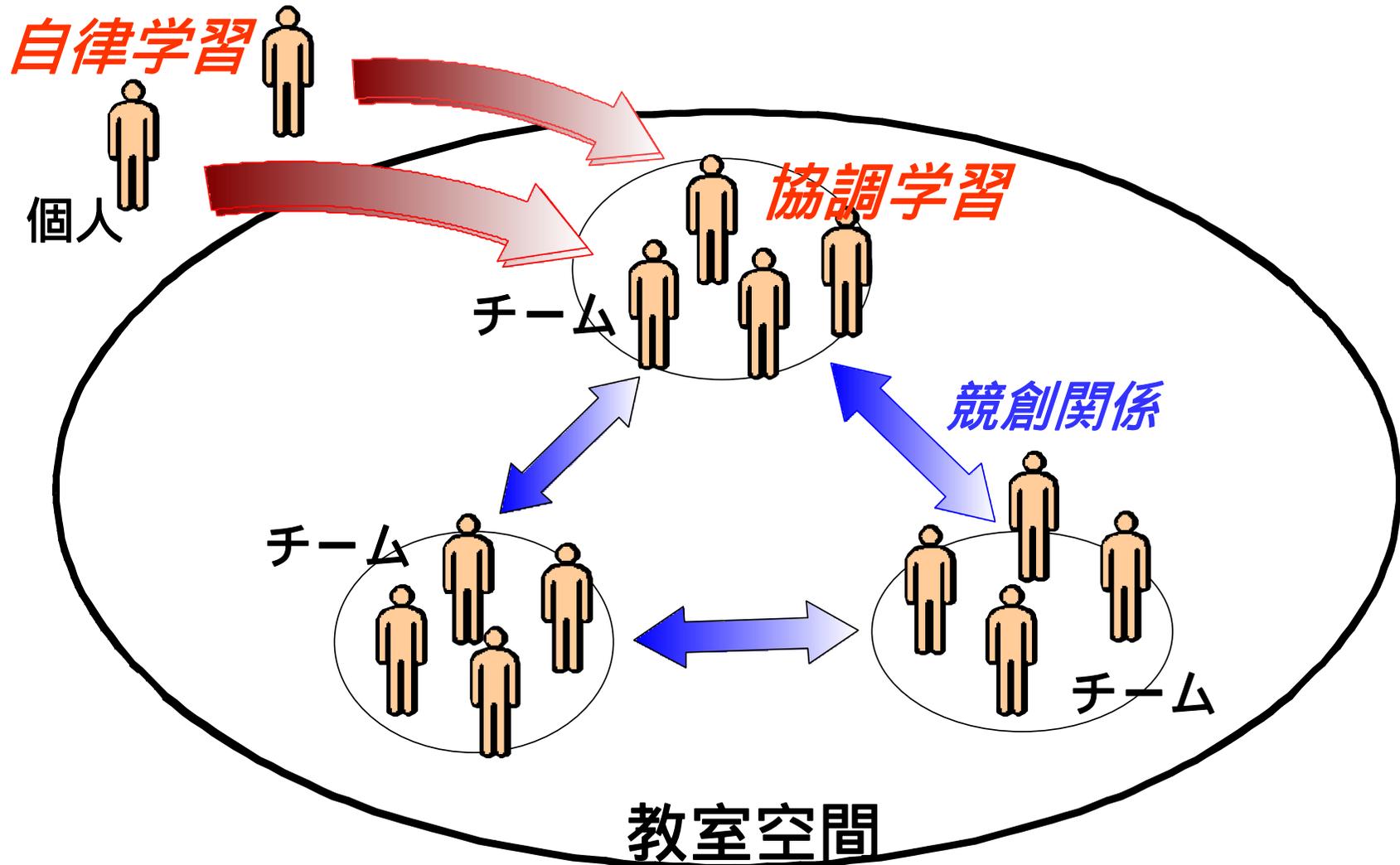
インターネット 100%

授業の流れと 授業風景



回数	協調学習	自律学習	ショートレクチャー (約50分)
1	ガイダンス		オリエンテーション
		私のプロフィール, イメージ調査, チーム実践力の習得目標の3つを記載	
2	チームメンバーを良く知ろう!		学校の歴史(1)
		ショートディベートの準備 (テーマ: 教員中心主義 VS 学習者中心主義)	
3	ショートディベート: チーム力を知ろう!		学校の歴史(2)
		解決しなければならない専門学校の課題をまとめる	
4	構想する将来の専門学校		“教育”をめぐる諸問題
		チーム発表用資料の準備	
5	チーム発表の準備(その1)		専門学校を取り巻く諸相
		チーム発表用資料の準備	
6	チーム発表の準備(その2)		現代学生“気質”
		チーム発表用資料の準備	
7	チーム発表 ; 学校見学会の実施, チーム学習を評価しよう!		
		ショートレポートの準備	
8	ショートレポート作成		
		ショートレポートの熟読	
9	ショートレポートから学ぼう		学力問題を考える
		指定参考文献の熟読	
10	参考文献を読み合おう!		カリキュラムを考える
		最終レポートの準備	
11	最終レポートの資料集め		学習方法を考える
		最終レポートの準備	
12	最終レポートアウトライン作成, 学習のまとめ		新しい教育ツール
		最終レポートの作成・提出	

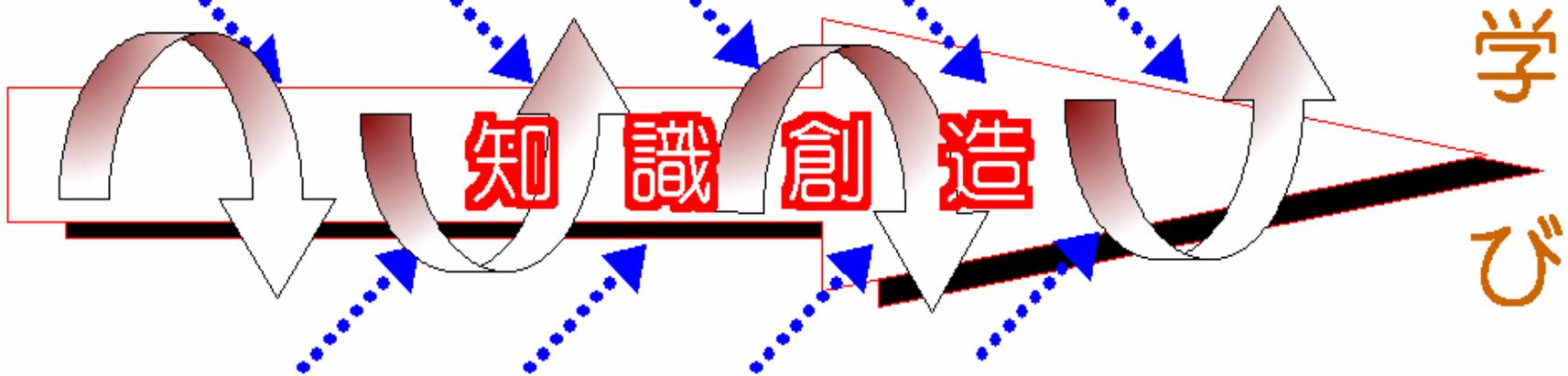
授業のイメージ



ショートレクチャー，協調学習， 自律学習のそれぞれの関連性

協調学習

知識の獲得 (ショートレクチャー)



自律学習

学生授業評価結果の一覧

(人)

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
Q1 この学習方法になじんだ(親しみ)	0	3	5	1	2
Q2 この学習方法は"学習のねらい"を達成するのに役だった(有用性)	0	6	2	3	1
Q3 今まで以上に、自分なりの新たな知識を生むことができた(創造性)	0	5	4	2	1
Q4 今まで以上に興味深く学ぶことができた(興味)	0	4	5	2	1
Q5 今まで以上に授業に関心が持てた(関心)	0	6	4	1	1
Q6 今まで以上に積極的に授業に参加した(意欲)	1	4	4	2	1
Q7 今まで以上に満足する授業であった(満足)	0	5	4	2	1
Q8 今まで以上に授業内容/課題を理解できた(理解度)	5	3	3	0	1
Q9 今まで以上に効率よく学べた(効率化)	0	5	5	1	1
Q10 今まで以上に問題解決へ取り組む技術が身についた(問題解決-技術)	0	5	5	1	1
Q11 今まで以上に問題解決へ取り組む姿勢が身についた(問題解決-態度)	0	7	3	1	1
Q12 今まで以上に主体的に学べた(主体性)	2	7	1	2	0
Q13 今まで以上に学生同士、授業に関するコミュニケーションをとることができた(コミュニケーション)	2	9	1	0	0
Q14 協調学習(チーム学習)は機能した/うまくいった(協調学習)	2	9	1	0	0
Q15 チーム内の役割は理解できた(チーム役割)	3	5	4	0	0
Q16 チーム内の役割は機能していた(チーム機能)	3	4	5	0	0
Q17 他のチームに負けないうチームが結束し課題に対して頑張った(競創関係)	5	2	4	0	1
Q18 自律学習(個人学習)は機能した/うまくいった(自律学習)	1	3	5	2	1
Q19 この学びにC-Learningは役だった(C-Learningの有用性)	1	2	4	3	2
Q20 今まで以上に楽しく学べた(楽しさ)	1	4	4	2	20
Q21 ショートレクチャーは新しい知識の獲得に有益だった(知識獲得)	2	4	2	3	1

結果 ; 「授業のねらい」に対して

- ✓ 授業のねらいに対して**有用とする**学生; 6名 (Q2)
- ✓ 今まで以上に自分なりの**新たな知識を生む**ことができたとする学生; 5名 (Q3)
- ✓ 協調自律学習を通して得られて**問題解決への技術・態度面**の定着度; 技術面－5名 (Q10), 態度面－7名 (Q11)
- ✓ **主体的に学ぶ**ことができたとする学生; 9名 (Q12)

振り返って思うこと

- ✓概ね授業のねらいに対し協調自律学習は**有用性**をもち、主体的に学ぶ姿勢(問題解決における**姿勢**)が養われた、といえよう。
- ✓その支えの一つが、コミュニケーションの活性化(Q13)。
- ✓ただし、新たな**知識の創造**(Q3)や問題解決場面における**技術面**への育成については、その限りではない(Q10)。

結果 ; 協調学習と自律学習に対して

- ✓ **協調学習が機能した**とする学生; 11名 (Q14) .
- ✓ 協調学習における**チーム内の役割**についても概ね肯定的な評価 (Q15・16) .
- ✓ チームが**結束し課題に対し頑張る**という**競創関係** (Q17)も肯定的 .
- ✓ それに反して, **自律学習が機能した**とする学生; **3名** (Q18) .

自律学習 (Q18) と他の設問項目とのクロス集計で検討 .
その結果, 学生間のコミュニケーション (Q13) やチーム学習の有用性 (Q14・15・16) を否定しないものの, 自律学習がうまく機能しなかったとする学生は, C-Learning (Q19) の活用という学習形態や協調自律学習への**親しみ** (Q1) という点が, 否定的 .

つまり, 学生が感じる学習方法そのものへの違和感が自律学習の機能を低める傾向にあるといえる .

結果 ; 興味・関心・意欲, そして, 満足

➤ 全体的にみると, さほど高い評価を得られたとはいえない.

➤ それぞれの評価を個々で見ると,
授業への関心; 6名の学生が関心を持てたとする(Q5)

興味や意欲, 満足のそれぞれ肯定的回答;
半数を下回る(Q4・6・7)

これらはいずれも**授業者自身の問題**であり,
今後の課題.

振り返って思うこと

- 授業のねらいに対する本学習方法は、全体として概ねその有用性をもつことが示唆された。
- もう少し踏み込むと協調学習においては機能性が高く、自律学習については低いことが示された。
- 授業への興味・関心・満足度を挙げる工夫が今後必要。

問題点と今後の課題

学習者の人数の問題.

- 西之園 (2003) や長尾ら (2006) の実践 多人数
- 教員養成学科の学生12名は毎日他の授業で顔を合わせる . C-Learning活用の**必然性は低い** .
- 換言すると , C-Learningを活用せずとも協調自律学習は成立 .
- しかし , 個人ベースの学習 (自律学習) を支援する , またはC-Learningの活用がより深い学習の成立を可能にするなどといった , 方策が課題 .

問題点と今後の課題

新しい学習形態(協調自律学習)を学生は受け入れるか否かの問題.

- **協調自律学習は学生の主体的学習を前面に置く学習形態.**
- **専門学校では知識の注入を如何に行うか、が授業に期待される.**
- **教員養成学科学生は、まさにその教育に慣れ親しみ今まで過ごし、今この授業の中にいる. その点が大きな不安の一つ.**

- 学習方法に馴染んだとする学生が少ない (Q1)ことから、その点が端的に現れる。
- 知識の注入に慣れ親しんでいる学生に、その**呪縛から解き放つ**には如何にすれば可能か。
- 今後の解決策として、一つには、通年授業ほどの回数確保。二つには、授業開始時のオリエンテーションで、今までの学習とは根本的に異なる学習形態である旨、丁寧に説明する、など。

問題点と今後の課題

チーム編成とともにチーム内の役割の問題.

- チームの編成: 本テキストの「私のプロフィール」(第2回授業で実施)と, チームで担いたい役割(希望), コミュニケーションタイプテストの3つの結果を総合的に勘案し, 授業者の判断で決定.
- チームの役割: 「司会係」・「技術係」・「記録整理係」・「計画管理係(授業後半で, C-Learning推進係と改名)」の4つ.
- 授業当初, 全員がそれぞれの役割を果たしその延長線上でチームが目指すところの学習課題を全員がクリアーする, という予想.

- **しかし、チーム間でC-Learningの活用に差が生じ、最終レポート作成で同じチームの学生でバラツキが。**
- **チーム編成とともにチームの役割を再考することが今後の課題。**

- **改善策として、例えばチーム編成を固定化せず、途中でチーム編成を変更するトレード制度の導入、チームメンバーの入れ替えでリフレッシュ。**
- **併せて、協調自律学習におけるC-Learning活用の必然性をどのように持たせることができるのか、その点も大きな課題。**

問題点と今後の課題

レポート課題の設定の問題.

- 最終レポート:「私が構想する未来の専門学校」
(個別で提出)
- その課題をクリアーするため, 協調学習)と自律学習の相互作用でより良いレポートを作成するよう期待するが.
- ここ問題が. チームで議論した内容に学生は互いに引きずられ, 個レベルでのレポートは, チーム内でほぼ同一の視点.

- あくまでも、チームの力を借りて個人レベルの創造性豊かな着眼点でレポートを書くよう指示をするが、なかなかそこから**学生は脱しない**。
- 授業評価からも、自分なりの新たな知識を生むことがあまりできなかつた、とする学生が多くいたことからもうかがわれる(Q3)。
- オリエンテーションで、最終レポート課題の説明の際、チームレベルの議論を踏まえ個人レベルで新たな知見を織り交ぜるよう、学生に周知徹底することで、ある程度の改善がみられるのかもしれない。今後の課題としたい。

問題点と今後の課題

“授業のねらい”が適切であったかどうかの問題

- 一つに新たな知識を生み出す，という取り組みは，教員養成学科1年生の現状に即していたかどうか？
- 知識創造以前の問題も絡んでこよう．
- 学生のほとんどは教育学に対する知識は皆無であり，また，学校図書室内の教育学関連図書など学習教材の不足等，さまざまな問題点も．

- 今後は、ショートレクチャーの内容・構成の再検討とともに、教育学関連の図書室内の図書の充実やC-Learning上に掲載する教材の充実も必要。
- また、問題解決への技術面の向上では、今回、KJ法で行う作業を2回行ったが(第5・6回授業)、あまりその意図を理解しないまま授業が流れた感がある。今後その点の改良も。

最後に一言，

- 授業者自身が協調自律学習の意義をもっと深く理解することが最大の課題では．
- 哲学的な課題でもある．
- その点をクリアーしたとき，専門学校教育にフィットした新しい協調自律学習の構築が可能に．
- 今後も実践を積み重ねていきたい．

謝 辞

本授業は、NPO法人学習開発研究所
(代表;西之園晴夫先生)から多大なる
ご支援を頂き、実施したものです。
ここに深く感謝の意を表します。

ご静聴ありがとうございました。